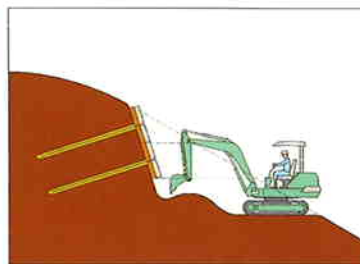


施工手順

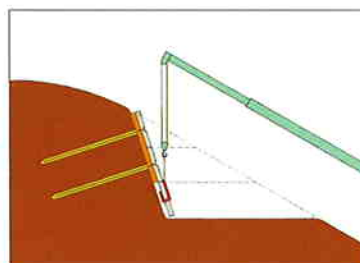
①掘削・法面整形

バックホーにて、パネル1枚分(約1.2m~1.3m)掘削します。その後に透水材をセットします。



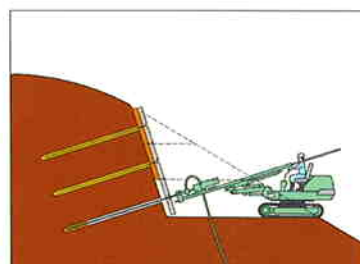
②コンクリート板据えつけ

専用の吊具を使用して、所定の位置にコンクリート板をセットします。



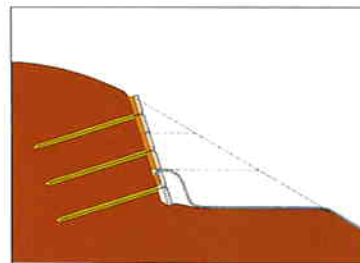
③補強材打設・グラウト

ロータリーパーカッション等を使用して削孔し、補強材を挿入した後、グラウト注入を行います。



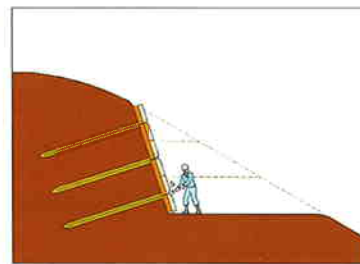
④裏込め注入

コンクリート板と地山との隙間に、裏込め注入材を注入します。



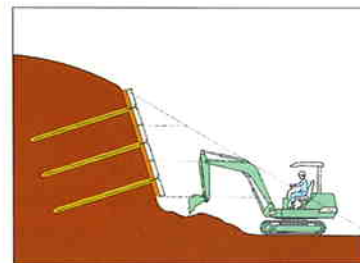
⑤補強材頭部定着

トルク・レンチにより補強材頭部を定着し、その後にキャップを装着します。



⑥次段掘削

次段以降は1~5の繰り返し作業となり最終段施工完了後に、埋め戻しコンクリートを施工します。



施工ヤードは4.0m以上を標準とする。